

燕・弥彦総合事務組合職員の自己啓発等休業に関する条例施行規則をここに公布する。

令和 7 年 3 月 1 0 日

燕・弥彦総合事務組合

管理者 燕市長 鈴木 力

燕・弥彦総合事務組合規則第2号

燕・弥彦総合事務組合職員の自己啓発等休業に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、燕・弥彦総合事務組合職員の自己啓発等休業に関する条例(令和7年条例第1号。以下「条例」という。)に基づき、職員の自己啓発等休業に関し、必要な事項を定めるものとする。

(大学等課程の履修の成果をあげるために特に必要な場合)

第2条 条例第3条の規則で定める場合は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第97条に規定する大学院の課程(同法第104条第4項第2号の規定によりこれに相当する教育を行うものとして認められたものを含む。)又はこれに相当する外国の大学(これに準ずる教育施設を含む。)の課程であって、その修業年限が2年を超え、かつ、3年を超えないものに在学してその課程を履修する場合とする。

(自己啓発等休業の承認の申請手続)

第3条 自己啓発等休業の承認の申請は、自己啓発等休業承認申請書(第1号様式)により、自己啓発等休業を始めようとする日の1月前までに所属長を経由して行うものとする。

2 任命権者は、自己啓発等休業の承認の申請をした職員に対して、当該申請について確認するため必要があると認める書類の提出を求めることができる。

(自己啓発等休業の期間の延長の申請手続)

第4条 前条の規定は、自己啓発等休業の期間の延長の申請について準用する。

(報告等)

第5条 条例第9条第1項の規定による報告は、自己啓発等休業状況報告書(第2号様式)により行うものとする。

2 任命権者は、前項の自己啓発等休業状況報告書に加え、関係書類の提出

を求めることができる。

(職務復帰)

第6条 自己啓発等休業の期間が満了したとき、又は自己啓発等休業の承認が取り消されたときは、当該自己啓発等休業に係る職員は、職務に復帰するものとする。

(職務復帰後における昇給日)

第7条 条例第10条の規則で定める日は、燕・弥彦総合事務組合職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則(平成9年規則第16号)第27条に規定する昇給日とする。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

任命権者

様

所属長

自己啓発等休業承認申請書

次のとおり自己啓発等休業の承認(期間の延長)の申請がありましたので、承認(期間を延長)されるよう副申します。

所属長 所見	(代替職員の要否その他参考事項)
-----------	------------------

地方公務員法第26条の5第1項及び燕・弥彦総合事務組合職員の自己啓発等休業に関する条例第6条(第7条)の規定により自己啓発等休業の承認(期間の延長)を申請します。 年 月 日				
所属名		職名・氏名		
1 申請の区分	<input type="checkbox"/> 自己啓発等休業(2及び3に記入) <input type="checkbox"/> 期間の延長(2及び4に記入)			
2 自己啓発等 休業の内容	大学等課程の履修	大学等の名称 (所在地)		
		課程(修業年限)	()	
		履修の期間	年 月 日から 年 月 日まで	
	国際貢献活動	活動組織		
		活動国・地域		活動分野
		活動期間	国内訓練	年 月 日から 年 月 日まで
活動国滞在	年 月 日から 年 月 日まで			
3 申請期間	年 月 日から 年 月 日まで			
4 延長の期間	年 月 日から 年 月 日まで			
既に自己啓発等休業をしている期間	年 月 日から 年 月 日まで			
5 備考				

- (注)① この申請書には、次の内容が確認できる書類を添付すること。
 ア 大学等課程の履修又は国際貢献活動の内容及び期間
 イ アの内容に関する照会先
 ② 「履修の期間」欄には、大学等の課程に在学して履修しようとする期間を記入する。
 ③ 「活動組織」欄には、「青年海外協力隊」、「シニア海外ボランティア」、「国連ボランティア」等を記入する。
 ④ 「国内訓練」欄には、例えば、独立行政法人国際協力機構が行う派遣前訓練等の準備行為に参加する期間を記入する。
 ⑤ 「5 備考」欄には、以前に自己啓発等休業をしている場合における当該自己啓発等休業の内容(大学等課程の履修又は国際貢献活動の別、休業期間)、自己啓発等休業の期間を延長する場合における当該自己啓発等休業の期間の延長を申請する理由その他任命権者が承認の可否を判断するに当たって必要と思われる事項を記入する。
 ⑥ 該当する□にはレ印を記入すること。
 ⑦ 所属長名及び氏名は、署名又は記名押印すること。

年 月 日

自己啓発等休業状況報告書

(任命権者)

様

報告者 所属
職名
氏名

次のとおり自己啓発等休業の状況について報告します。

1 報告事由	<input type="checkbox"/> 任命権者から求められた 内容 () <input type="checkbox"/> 大学等課程の履修又は国際貢献活動を取りやめた <input type="checkbox"/> 在学している課程を休学し、停学にされ、若しくはその授業を欠席し、又はその参加している奉仕活動の全部若しくは一部を行っていない <input type="checkbox"/> 大学等課程の履修又は国際貢献活動に支障が生じている
2 報告の事由が発生した日	年 月 日
3 自己啓発等休業の状況	

(注)

- 1 「1 報告事由」欄には、該当する□にレ印を記入すること。
- 2 報告者氏名欄には、報告書が署名し、又は記名押印すること。